

Pair Letter

ペアレター

小児特集

多様な専門分野の医師が小児医療を支える



— 小児科の皆さん —
撮影時のみマスクを外しています

外来診療一覧 (R3.3.1現在)

詳細はホームページの各診療科の案内をご覧ください

発行元: 松戸市立総合医療センター 総務課

診療科名	外来表(一般外来及び予約専門外来)	備考
内科	内分泌・代謝/アレルギー/リウマチ/膠原病/腎疾患	
循環器内科	一般外来/ペースメーカー外来	
呼吸器内科	一般外来	
消化器内科	一般外来	
脳神経内科(予約制)	一般外来	
血液内科	一般外来	
緩和ケア(予約制)	診察は外来主治医と相談	
総合診療科	一般外来	
皮膚科(完全紹介予約制)	一般外来	月曜日休診
化学療法内科(予約制)	診察は外来主治医と相談	
外科・消化器外科・乳腺外科	一般外来	
呼吸器外科	一般外来	火・金曜日休診
心臓血管外科(予約制)	一般外来	火・木・金曜日休診
脳神経外科	一般外来	
整形外科(完全紹介予約制)	一般外来/小児整形/成人股・膝・肩・肘関節・手/側弯症/リウマチ	
形成外科(予約制)	一般外来	水曜日休診
眼科(完全紹介予約制)	一般外来	木曜日午後休診
耳鼻いんこう科(完全紹介予約制)	一般外来	
泌尿器科	一般外来	
産婦人科(予約制)(4/1~完全紹介予約制)	一般外来/妊婦健診/不妊外来/コルポ外来	
歯科口腔外科(完全紹介予約制)	一般外来	月曜日手術日より初診のみ
小児科	一般外来/小児神経/腎臓/アレルギー/呼吸器/血液/循環器/感染/内分泌	
小児外科(月曜午後予約再来のみ)	一般外来	月曜日午前休診、水・金曜日休診
小児脳神経外科	一般外来	月・水・木曜日休診
小児心臓血管外科	一般外来	木曜日休診
新生児科(予約制)	一般外来/シナジス	月曜日午後・火曜日午後休診
放射線治療科	一般外来	水曜日休診
救急科(再来)(予約制)	再来患者11:00~12:00	
精神科	現在休診中	
女性特別外来(予約制)	一般外来	月曜日以外は休診
禁煙外来	総合診療科外来へ	
セカンドオピニオン外来(予約制)	一般外来	
母乳外来(予約制)	産婦人科外来へ	
ストーマ外来(予約制)	人工肛門/人工膀胱(外科・泌尿器科外来または外来主治医へ)	

松戸市立総合医療センター Matsudo City General Hospital

〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993番地の1
TEL 047-712-2511(代) FAX 047-712-2512(代)

【診療】 月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始は休診)

【受付時間】 初診: 午前8時30分～午前11時
再診: 午前8時～午前11時

【完全紹介予約制】は、地域の医療機関からの紹介状と事前の受診予約が必要です。

【予約制】は、事前の受診予約が必要です。(6ページを参照)



総合医療センター
QRコード

交通アクセス: 有料駐車場有(513台) 松戸駅・北松戸駅から新京成バス
馬橋駅・北松戸駅からゆめいろバス、新京成八柱駅からシャトルバス



小児腎臓

ネフローゼ症候群、急性腎炎、慢性腎炎、(保存期)慢性腎臓病(CKD)、溶血性尿毒症症候群(HUS)、こうげんびょう膠原病などの診療を行っており、年間約30件の腎生検を実施しています。急性腎不全の緊急透析も小児集中治療室(PICU)で行っています。胎児期や出生時のスクリーニング検査、尿路感染症などをきっかけとして発見される水腎症、膀胱尿管逆流症、尿道狭窄症などの先天性腎尿路異常(CAKUT)も、当院の小児外科と連携しながら診療しています。

また、市内や近隣市町村の学校検尿のより高度な精密検査を担当しています。週4日の腎臓外来では約800名のお子さんを診療し、病状や成長発達、社会生活に合わせ、成人科への移行のタイミングなども考えながら継続的にフォローしています。



左から 医長 なむ 南 ゆか 裕佳
ひらもと 平本 りゅうご 龍吾 べすとどくたー2020-2021
しのづか 医長 篠塚 しんすけ 俊介 2度目の選出

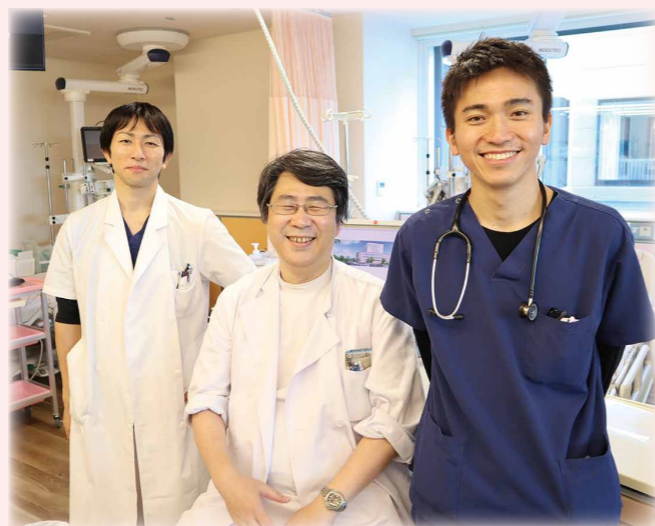
※ベストドクターとは、ベストドクターズ社から医師同士の相互評価に基づき認定されるものです。

小児循環器

心雑音やチアノーゼ、体重増加不良などで、市内や東葛地域、埼玉県東部、東京都内の医療機関から紹介・搬送される新生児・乳幼児の先天性心疾患の診断(レントゲン、心電図、心臓超音波検査他)・治療、川崎病や不整脈、心筋症といった小児の心疾患の検査・治療を行っています。

また、年間約50名の心臓カテーテル検査を行い、造影CTやMRI等を組み合わせ、小児心臓血管外科での手術適応判定や術後評価を行っています。必要に応じてカテーテル治療も行っています。

その他、松戸市や近隣市町村の小中学校心臓検診の3次検査施設として、24時間心電図や運動負荷試験等も行い、児童・生徒の管理・治療を行っています。



左から 医長 ほりもと 堀本 よしひこ 佳彦
すずき 副部長 鈴木 かずひろ 一広
たけもと 医長 竹本 なおき 直樹



小児病棟では、不安なく入院できるよう、看護師や保育士がお子さんとそのご家族を支えています。



小児医療

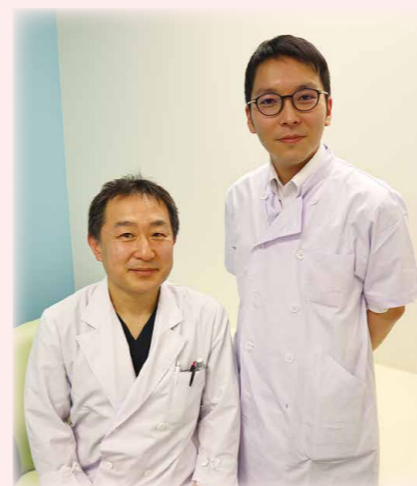
多様な専門分野の医師が小児医療を支える

無限の可能性がある子どもたちのために、スタッフ一同、気持ちをひとつにして頑張っています。小児医療センターは、小児科・小児外科・小児脳神経外科・小児心臓血管外科・小児集中治療科の5科を有し、軽症から最重症小児患者の治療にあたっています。ドクターヘリの受け入れを含めて重症患者の治療は小児集中治療室(PICU)8床で行っており、小児専門看護師や小児救急・集中治療の認定看護師も活躍しています。松戸市医師会と協力して、松戸市夜間小児急病センターで軽症の小児救急患者の診療を行い、同時に24時間他の医療機関からの重症患者の受け入れも行います。今回は、小児医療を支えている専門外来の診療を紹介します。

小児神経

小児神経外来は日本小児神経学会専門医の常勤医2名と非常勤医2名が担当しています。対象となる病気としては、主にてんかん、脳性麻痺などの神経疾患や健診などで見つかる発達の遅れなどに対して診療を行っています。脳波検査、末梢神経伝導検査などの電気生理学的検査をはじめ、診断治療に必要な各種検査も行っています。

また、神経・筋疾患を背景とした重症心身障害児(者)の診療においては、地域の在宅医療とも密に連携して日常生活を医療の側面から支えています。



左から 部長 もり 森 まさと 雅人
 副部長 こはし 小橋 こうすけ 孝介

小児内分泌



なるせ ゆうき
 医長 成瀬 裕紀

東葛地域のホルモンに関連する病気のお子さんを受け入れています。新生児マススクリーニングの要精査対象となった赤ちゃん(甲状腺・先天性副腎皮質過形成)の受け入れも行っています。

地域のクリニックから、低身長、肥満、思春期にまつわる問題などでお子さんを紹介いただくケースが多く、地域のクリニックの先生方ともしっかり連携しつつ診療を行っています。

コロナ禍に伴う生活自粛で…

昨年から今年にかけて子どもたちの肥満の症例が増えた印象があります。当院でも肥満から生じる2型の糖尿病を新規に発症したお子さんが多く入院されました。

小児アレルギー

「食物アレルギーで食べないようにしているけど、いつになったら食べられるようになるの?」「いくらスキンケアしてもお肌がよくなりません。」「ずっと咳をしているのが当たり前になっている。」「こんな悩みをお持ちのお子さんを診察しています。

アレルギーの病気は、できるだけ症状を落ち着かせて、悪化しないように長く上手く付き合っていくことが大切です。

医師の診断を基に、看護師・薬剤師・栄養士を含めたチームで、生活に踏み込んだ具体的なアドバイスをしながらサポートしていきますので、ご自宅での治療を頑張ってください。

外来ではこれまでの状況についてじっくりお話を伺います。他院での検査結果なども、とても大事な情報なので、ぜひお持ち下さい。



おおぼやし ひろあき
 医長 大林 浩明



一人ひとりの子どもたちがその子らしく生きるために
その子に合った医療を考案し、提供する
“その子らしく、その子のために”

小児脳神経外科



みやがわ ただし
部長 宮川 正 ベストドクター2020-2021 選出

子どもは、大人のミニチュアではありません。子どもたちの脳や脊髄は、発育や発達段階によって大きく変化することから、それを診療するためには高度かつ専門的な知識、技術、経験が必要となります。小児脳神経外科では、胎児を含む18歳以下の子どもたちに発生する、脳、脊椎・脊髄、末梢神経疾患の診断と外科治療を担当しています。

主に、脳脊髄腫瘍、頭蓋縫合早

期癒合症や二分脊椎などの奇形疾患、頭部外傷、水頭症などを重点的に診療しています。

ソーシャルワーカーや院内学級と協力し、退院後の子どもたちがスムーズに学校や地域社会に戻れるよう支援体制を整えています。こども達の神経系に発生する具体的な外科疾患はホームページに掲載していますので、ご覧ください。

頭をぶつけてしまった！ そんな時どうする？

ちょっと目を離した際に、子どもたちは転倒したり、転落したりして、頭を打つことがよくあります。そんな時は、病院へ連れていくべきか、それともそのまま様子を見ていても大丈夫なのかと悩んだことがあるでしょう。

そのような時、どうすればよいか、これまでの研究が役に立ちます。

子どもの頭に外傷が加わると言ってもそのパターンは一つとは限りませ

ん。そこでお子さんの年齢、けがの仕方、症状や状態、受診のタイミングの4項目に分けて考えていきます。この続きは…当院ホームページ“小児脳神経外科—お子さんが頭を打ったとき—”をご覧ください。



—お子さんが頭を打ったとき—

手術をお受けになるお子さんへ



麻酔科

当院は、地域の小児医療の核となる施設で、お子さんの手術も多く行っています。手術という侵襲からお子さんを守り、安全な手術を受けていただくためには麻酔が必要ですが、私たちは小児の麻酔管理の経験も豊富です。一般的な小児手術から、新生児手術、脳や心臓の手術といった高度な特殊手術まで幅広く対応しています。

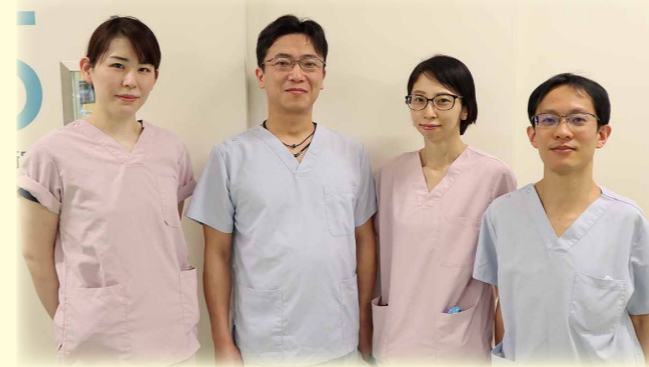
手術前には、お子さんと保護者の不安を少しでも軽減できるよう、アプリツールを活用した新たな取組みや、麻酔科外来で質問や不安にお答えしています。手術後の痛みの管理も積極的に行い、術前から術後まで安心して周術期を乗り越えられるよう、手術に関わるスタッフ全員でサポートを行っています。

小児医療 多様な専門分野の医師が小児医療を支える



小児外科

小児外科では新生児から15歳までの外科的治療（手術、処置）が必要なお子さんを担当します。身体の部位では消化器（胃腸、肝臓、胆道系、膵臓など）、泌尿生殖器（腎臓、膀胱、尿管、卵巣、精巣、外性器）、呼吸器（肺や気道系）など多岐にわたり、小児科・新生児科との密な連携のもと救急疾患にも対応します。手術は内視鏡手術など身体への負担が少ない術式も取り入れ、毎年約60種類の術式で手術を行っています。治療については手術以外の方法も含め、お子さんごとにどんな治療が最もよいのかを考えながら選択しています。乳幼児・小児期に他院での手術を受けた後でお困りの方（成人例）もできる限り対応しておりますのでご相談ください。



左から 医員 佐永田 友季子
部長 松浦 玄
医長 三瀬 直子
医長 原田 和明

小児集中治療



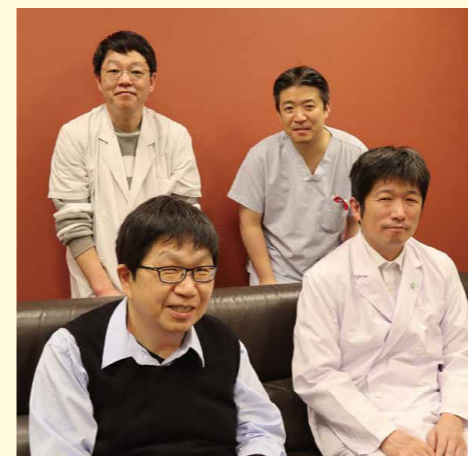
小児集中治療室（PICU）は、重症の疾患に罹られたお子さんをはじめ、医療的ケアが多く必要であったり、ひどい外傷を負われたお子さん、あるいは予定手術であっても大がかりな内容の手術を受けられたお子さんなどの診療にあたっています。

重症なお子さんの経過がよくなるように、ご家族の不安を減らせるように、多くの職種で協力しながら診療にあたっています。24時間365日の体制で受け入れをしております。市外や県外も含めて広い範囲からの依頼に対応しています。

PICUを持つ病院は国内でも限られていますので、当院以外の医療機関や、地域全体に協力・貢献していけるように活動していきます。

左から
医長 松戸 孝博
医長 山下 由理子
副部長 岡田 広

小児心臓血管外科



当科は、東葛北部地域で唯一の小児心臓疾患を専門とする診療科です。対象疾患は生まれつき心臓に異常がある先天性心疾患で、その外科治療（＝手術）を担当し、新生児から成人症例に至るまで幅広く対応

しています。手術前には麻酔科医、臨床工学技士、看護師などと合同検討会をおこない、万全の態勢で手術に臨んでいます。また、術後は小児集中治療医と協力して術後管理を行っています。

検診で、「お子さんに心雑音や不整脈が見られる」と言われた、または、泣いた時に顔や口唇、指先などが青紫色になってしまう（チアノーゼ）など心配ごとがありましたら、遠慮なく受診してください。

前列左から 部長 坂本 貴彦
心臓血管外科部長 梅原 伸大
後列左から 医長 滝口 信
副部長 中山 祐樹

外来を受診される方へ

診療科により、紹介制や予約制を設けておりますので、受診の際は
お電話または診療科のホームページをご覧ください。



- ※1 以前当院を受診した方でも初診になる場合があります
- ・診療を受けていた病気が治癒した後、新たな病気について診療を受ける場合
 - ・予約日に受診せず、任意に診療を中止し、一定期間経過した場合
- ※2 初診の予約方法
- ・かかりつけ医から紹介状を受け取り、患者さんがお電話で予約をする方法
(お手元に紹介状をご準備ください)
 - ・かかりつけ医からFAXで予約をする方法

- ※3 次の場合は選定療養費のご負担はありません
- ・救急車で当院に搬送された方
 - ・生活保護による医療扶助の対象となる方
 - ・特定疾患など各種公費負担制度受給対象の方
 - ・労働災害・公務災害で受診の方
 - ・今回受診する診療科は初めてだが、別の診療科に通院中の方

長期入院となった児童・生徒のために、
病院の中に設置された教育施設です。「院
内学級」として1974年に設立され「小
学部」と「中学部」があります。
小・中とそれぞれ教室があり、自分の
学校の教科書を使って学習します。退院
したあと困らないように学校のみんなと
同じところまでを目指します。また、わ
からないところは丁寧に復習します。個
人の進み具合に合わせて学習することも
できます。休み時間には、カードゲーム
やボードゲームをして気分転換、先生と
真剣勝負です！院内学級に通っている
間は欠席とされず、学校は出席扱いと
なっています。



院内学級 ひまらや学級



小児特集

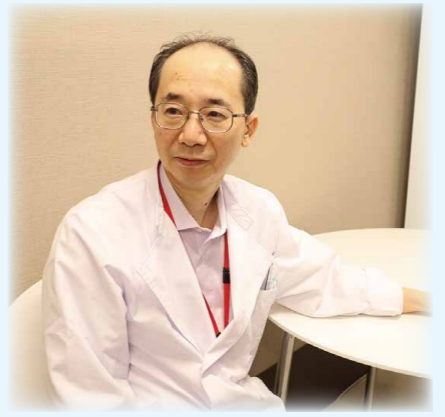
小児医療 多様な専門分野の医師が小児医療を支える



小児医療センター以外でのお子さんの治療にあたる診療科を紹介します。

耳鼻いんこう科

新生児聴覚スクリーニング後や乳
幼児検診後の、難聴が疑われるお子
さんの二次聴力検査機関となってい
ます。手術に関しては、いびきや睡眠
時無呼吸症候群、くりかえす扁桃炎、
扁桃病巣感染症 (IgA腎症など、扁桃
が原病巣となって、それ自体が無症状
か軽微な症状にすぎないにもかかわらず、
扁桃から離れた臓器に器質的・
機能的障害を引き起こす病態) に対
する、口蓋扁桃摘出術やアデノイド切
除術を行っています。その他、遷延す
る滲出性中耳炎に対する鼓膜チュー
ブ留置術などを行っています。



リハビリテーション科 部長 品田 良之

形成外科

小児形成外科で扱う疾患は、生ま
れつき体表の形が異常な疾患を中心
として診療しています。対象疾患は極
めて多彩なため、字数の許す限りご紹
介します (形成外科の紹介は広報誌
「ペアレーターVol.9」をご覧ください。
口唇裂、口蓋裂、顎裂 (くちび
る、上あご、歯ぐきが割れている)、先
天性眼瞼下垂 (まぶたがさがっている)、
小耳症・埋没耳・副耳 (耳介形
態異常)、耳瘻孔 (耳に小さい穴があ
る)、合指・多指症 (指がくっついてい
る、本数が多い)、母斑 (あざ)、脂腺
母斑 (頭髪内のハゲ)、乳児血管腫
(いちご状血管腫) などなど。けが・や
けどなど、体表であれば先天疾患以外
でも全て診察しますので、お子さんの見
た目で気になることがありましたら、ま
ずは形成外科にご相談ください。

小児整形 (整形外科)

成長期の子どものに生じる骨や関節
の病気を専門に診る整形外科です。
赤ちゃんにみられる、股関節脱臼 (発
育性股関節形成不全)、内反足、筋性
斜頸が代表的な疾患ですが、その他、
骨折などの外傷や骨・関節の炎症、脳
性麻痺や二分脊椎などの麻痺性疾
患、先天性疾患に伴う四肢や脊柱の
変形、また、特殊なものとして小児期
に跛行を呈するペルテス病や大腿骨
頭すべり症など多岐にわたってい
ます。診断にはX線だけでなく超音波や
MRIなどを用いて行っています。この
ように範囲が広いので全てを治療す
ることは難しいですが、当院で対応で
きないときは、近隣の小児専門施設
をご紹介します最善の治療が行えるよ
うに努めています。



左から 医師 佐永田 健太
部長 磯山 恭子
八田 真梨子



左から 医師 五十嵐 悠大
部長 有川 俊輔
小野 智洋

～より良い道を見つけるお手伝い～ 臨床心理室



公認心理師 臨床心理士 左から 中込玲子、棚岡智子

急な入院、繰り返す入院、長期化する入院における、心理的負
担感の軽減を目的に、お子さんや保護者に対し、心理療法 (心
理面接、プレイセラピー等) を提供しています。
また心理的困難感が、身体症状や不適応状態に影響を及ぼし
ているお子さんに対して、心理療法を提供しています。心理検査
を用いて、心理的・発達の・認知的な評価を行うこともあります。
お子さんや保護者のより良い道を見つけるお手伝いができれ
ばと思います。

今まで発行した
病院広報紙「ペ
アレーター」はこ
ちらからご覧に
なれます。

病院広報紙
ペアレーター
QRコード